Creative Enzymes®

不動化パパイン（アガロース樹脂）

Cat. No. NATE-1864

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	不動化パパインは、さまざまなIgG種からFabおよびFcフラグメントを生成するのに便利です。パパインは、活性部位にチオール基を持つ非特異的なチオールエンドペプチダーゼであり、活性のためには還元型でなければなりません。IgG分子がシステインの存在下でパパインとインキュベートされると、ヒンジ領域の1つ以上のペプチド結合が切断され、2つのFabフラグメントと1つのFcフラグメントという、同□のサイズの3つのフラグメントが生成されます。Fcフラグメントは、不動化プロテインAを使用するか、イオン交換クロマトグラフィーによってFabフラグメントから分離できます。50,000DaのFcフラグメントは、抗原結合の干渉なしにFc受容体の特異性を決定するためによく使用されます。免疫グロブリン分子とFc受容体の相互作用は、細胞の生理を調節するのに役立ち、Fc受容体機能の□化は特定の疾患の発症や進行を引き起こす可能性があります。Fc受容体と免疫グロブリンの相互作用を追跡することで、細胞表面認識の媒介と活性化の現象を研究することができます。 Fabフラグメントは、フラグメントが完全なIgGよりも組織に浸透するため、免疫組織化学的研究において有用です。また、免疫グロブリンのFab部分のみを使用することで、Fc受容体からの非特異的結合を回避できます。 不動化パパインを使用することで、最終製品に酵素の汚染を伴わずにフラグメントを生成できます。不動化は、熱□性や自己分解に□する酵素の安定性を高め、活性の維持を長くします。切断は、消化時間やカラムを通過する流量によって調整できます。不動化パパインは、希薄な小体積のタンパク質に□して効果的で、再現性のある消化物を生成します。
別名	不動化パパイン

製品情報

形態	50% スラリー（総容量10mL）を50% グリセロール、0.1M 酢酸ナトリウム、pH 4.4で、0.05% ナトリウムアジ化物を含む。
EC番号	EC 3.4.22.2
活性	パパインのミリグラムあたり16-40 BAEE単位の不活化前。
濃度	250µg パパイン/mL の沈殿したゲル

保管・発送情報

保存方法	受領後は4°Cで保管してください。製品は常温で出荷されます。